

(様式 1)

令和 4 年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県こどもみらい館 こども政策課

2 施設所在地
射水市黒河字高山4774番 6

3 施設設置年度
平成 4 年度

4 設置目的
児童に健全な遊びの機会と場を提供して、その健康を増進し、及び情操を豊かにするとともに、地域の児童館その他の関係機関等との連携を図り、もって次代の社会を担う児童の健全な育成に寄与する。

5 施設概要
鉄筋コンクリート造 地上 2 階、地下 1 階建て
建物面積 4,014.5㎡
(地下 1 階部分372.2㎡、1 階部分2,285.4㎡、2 階部分1,347.6㎡、エレベーター部分9.3㎡)

6 指定管理者
公益財団法人富山県民福祉公園

7 指定期間
3 年
令和4年4月1日 ~ 令和7年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人）

H30	R1	R2	R3	R4
170,040	150,734	70,529	82,966	134,406

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

H30	R1	R2	R3	R4
4	9	0	0	1

【参考】 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H30	R1	R2	R3	R4
-	-	-	-	-

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

利用者数は令和2年度に減少となった後増加しており、令和4年度は前年比で大幅に増加となった。令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染拡大による休館期間があったが、令和4年度は休館期間が無かったこと、コロナによる自粛の緩和により、利用者数が増加したものと考えられる。
引き続き「子どもから愛される身近な施設」「何度でも利用したいと思ってもらえる施設」「健全な成長を促す施設」を念頭に、安心安全な事業運営に努めていただきたい。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ①魅力ある企画事業等の実施、遊びや集団活動の機会提供等の充実
- ②県内児童館等の交流促進、情報提供、巡回活動や調査研究、指導者、ボランティアの育成など、地域の児童健全育成活動支援の充実
- ③施設運営等の工夫改善
 - ・館内に設置されている大型遊具を安全かつ清潔に利用できるよう適切に管理
 - ・GW・あじさい祭り開催期間・夏休み・春休み期間中は休館日を設けず、連日開館
 - ・冬季期間における無料バスの運行
- ④30周年事業や、幼児向け遊具のリニューアルや、休憩ロビーを整備

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

県内の保育所、幼稚園、小学校、中学校、児童館をはじめとする関係施設機関など約1,500箇所にて年6回「こどもみらい館通信」を配布するとともに、ホームページやSNS（Facebookやインスタグラム）で最新のイベント等を紹介するなど情報の提供に努めている。
また、県の広報番組を活用し、遊び方やイベント情報を発信した。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

①アンケート結果

実施方法	・一般来館者・利用団体を対象に行事やプログラムに関する利用者アンケートを年2回実施している ・団体客の来館時には団体用アンケートを実施
回答者数	来館者調査 第1回(8/13～8/15)：回収198/配布200 第2回(11/3)：回収153/配布200 団体アンケート 回収54/配布76
結果	・利用者の約8割がリピーターであり、10回以上来館している利用者も約3割となっている。 ・約2割が県外からの来館者であり、石川県からの来館が最も多い。
結果を踏まえた改善事項	・引き続き職員が常に情報収集に努め、各事業企画において「新鮮さと再帰性」を実現し、リピーターに満足してもらえる活動プログラムの質的な向上を目指す。

②その他利用者の声を反映させる取組み

こどもみらい館運営委員会を開催し、学識経験者や関係団体の代表の方から意見を伺っている。

③主な苦情と対応

・新しい遊具はスピードが出て危ないように感じた。→県、業者、みらい館で協議を進めた
が、改善策が見つからず、代替遊具の設置を行った。
・休憩ロビーのテーブルが荷物を置いて場所取りされている。→館内放送で周知等対応

(5) 個人情報保護の取組み

職場ミーティング等随時、職員に周知や注意喚起を図っており、適切な個人情報保護が
図られている。

(6) 関係団体との連携

太閤山ランドとの連携によりイベント等を開催した。県内児童館などへのプレーバス巡回
事業を行った。

(7) 施設・設備の維持管理

大型遊具の定期点検をはじめ適切に管理されている。点検等において不具合のあった
箇所は直ちに修繕している。SDGsを踏まえ省エネに向けた照明器具のLED化などを実
施している。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

非常時の緊急連絡網、危機管理マニュアルを作成し、職員に周知や注意喚起を図って
いる。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	2
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

なし

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

- ・今後も継続的な予防対策を念頭に置いた上で、PEDプロジェクトのような訪問支援活動や大人も楽しめるプログラムを組み合わせ、みらい館の利用者の増加に努めていただきたい。
- ・利用者の要望を常にくみ取り、児童健全育成の関係団体や専門家の意見を聞き、こどもみらい館運営委員会等で示された方向性に従って、企画事業の充実やプレーバスを活用した巡回活動事業等による地域児童館等とのネットワークの充実を図るとともに、楽しく、かつ、安全な施設運営に努めていただきたい。
- ・常に経費削減を念頭に業務内容の点検を継続するとともに、より一層、太閤山ランドとの連携を強化するなどの運営改善に努めていただきたい。
- ・アフターコロナを見据え、柔軟かつ適切な事業及び管理運営に努め、安心安全で、児童が快適に遊べる場の提供に努めていただきたい。